

ヘイケガニ

岡山県：準絶滅危惧

十脚目

*Heikea japonica* (von Siebold)

環境省：該当なし

ヘイケガニ科

選定理由

生息密度が低く希少で、生息地が局限される。

存続を脅かす要因

海岸開発、水質汚濁、海砂採取

分布状況

県内では瀬戸内市牛窓町周辺、及び浅口市寄島町～香川県丸亀市間の海底で記録されている。近隣の香川県小豆島～兵庫県姫路市家島間の海底でも得られている。

県外では北海道南部以南、九州までと、朝鮮海峡、黄海、ベトナムに分布する。

生息情報

甲長17mm、甲背は平滑だが、甲域を象る溝が深く明瞭で、人の怒った顔のように見えるため、壇ノ浦で滅亡した平家の亡霊として一般に知られている。雄では右の鉗脚が大きい。潮下帯の砂泥底に生息する。水産庁レッドデータブックで希少とされているが、上記の岡山県周辺海域では底引き網で比較的多数の個体が得られている。ただし県内全域に普通に見られるかどうかは即断の限りでない。

文献番号 114

(福田 宏)



キンセンガニ

岡山県：準絶滅危惧

十脚目

*Matuta victor* (Fabricius)

環境省：該当なし

キンセンガニ科

選定理由

生息条件が悪化し、産地・個体数ともに減少傾向にある。

存続を脅かす要因

海岸開発（干潟減少、干拓、埋立）、水質汚濁

分布状況

県内では笠岡市見崎で1個体只得られたのみである。

県外では東京湾以南、南西諸島、中国、インド・西太平洋に広く分布する。

生息情報

甲長32mm、甲は扁平で黄褐色の地に紫色の小斑を多数散在し、両側縁中央に大きく鋭い側棘を持つ。鉗脚の腕節と掌部の外側に棘状の顆粒を具える。歩脚は扁平で砂中に潜るのに適している。清浄な海水に洗われる砂干潟の汀線付近に生息する。他県では希な種ではないが、岡山県ではこれまで1個体しか確認されていない。現在の岡山県には本種が生息可能な砂質干潟が極めて少ないためと考えられる。

(福田 宏)

